

競技注意事項

1. 競技規則について

本大会は、2022年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会規定よって行う。

2. 受付・待機場所等について

区 分	受 付	競技場待機場所	補助競技場	その他
競技役員	正面玄関ロビー	競技役員控室・競技審判場所のみ	利用不可	ミーティング 不可
選 手	正面玄関前	メインスタンド・メインスタンド裏(2F)・競技場外周・芝生スタンドおよび、競技場周辺の芝生	利用 可	応援・付き添い 不可
観戦者(引率者)	南 門	メインスタンド・芝生スタンドのみ	利用不可	

※メインスタンド裏(2F)・競技場外周に関しては、地区割をしています。テープで仕切る・シートを張る等のチームとしての場所取りや使用は禁止する。

3. 競技者の招集について

- (1) 競技者招集場所は雨天練習場に設置する。
- (2) 招集時刻は、その競技開始時刻を基準とし、下記のように定める。

種 目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	競技開始 30 分前	競技開始 20 分前
フィールド競技	競技開始 40 分前	競技開始 30 分前
【走幅跳決勝・砲丸投決勝】	競技開始 30 分前	競技開始 20 分前
【 棒 高 跳 】	競技開始 90 分前	競技開始 60 分前

(3) 招集の手順

- ①競技者は招集開始時刻までに招集所に集合し点呼を受ける。その際アスリートビブス・スパイク・スパイクピンの長さ(走高跳は12mm以下、その他は9mm以下とする)・規定外シューズ・衣類および競技場内への持ち込み物品等の点検を受けた後、係員の誘導に従って入場する。
- ②招集完了時刻に遅れた者は、当該種目を棄権したものとして処理する。
- ③多種目同時出場届は兵庫県中学校体育連盟陸上競技部ホームページからプリントアウトした用紙を使用し、競技者係に提出すること。(競技者係は、その旨を流しプロに記載し連携を図る)
- ④四種競技出場者の招集については以下の要領で行う。
 - *トラック種目：(3)の①に従って、競技者係による通常の点呼を受ける。
 - *フィールド種目：招集開始時刻に招集所に集合し、混成競技係による点呼を受ける。
- ⑤リレーの招集は、予選・決勝ともに4人そろって点呼を受けること。ただし、他種目と重なるなどのため、点呼が受けられない場合は、(3)③に従いその旨を事前に申し出て許可を得ておくこと。
- ⑥競技への出場をやむを得ず棄権する時は、招集開始時刻までに当該選手の監督がその旨を競技者係に申し出ること。四種競技出場者が途中で棄権する場合は、混成競技審判長に申し出ること。 [TR39.10]

4. TR5競技用靴の対応について

本大会はTR5.2 (TR5：競技用靴)を適応する。
規定シューズ以外のものを使用している場合は出場不可もしくは失格とする。

5. 競技運営について

- (1) トラック競技の走路順、フィールド競技の試技順は、プログラム記載の番号で示す。
- (2) (着順ではなく)時間を元にしてTR20.3.2によるランキングの順位が同じ場合、写真判定員主任は0.001秒の実時間を考慮しなければならない。それでも同じであれば同成績とし、ランキングの順位を決める抽選を行う。 [TR21.2]

- (3) 「On your marks (位置について)」または「Set (用意)」の合図の後、音声や動作、その他の方法で他の競技者を妨害したときは不適切行為とみなす。 [TR16.5.3]
- (4) スタートにおける不適切行為は、TR16.5 を適用せず注意にとどめる。
- (5) 混成競技を除いて、一度の不正スタートでも責任を有する競技者はスターターにより失格させられる。混成競技においては、各レースでの不正スタートは1回のみとし、その後に不正スタートした競技者は、すべて失格とする。 [TR16.8]
- (6) リレー競技を行う場合、競技者は大きさが最大 50mm×400mm で他の恒久的なマーキングと混同しないようにはっきりとした色の粘着テープをマーカーとして1カ所、自らのレーン内に貼ることが許される。 [TR24.4]
- (7) リレーチームの編成メンバーは、どのラウンドにおいてもその競技会のリレーまたは他の種目に申し込んでいる競技者であれば出場できる。ただし、少なくとも2人はリレーに申し込んだ競技者でなければならない。 [TR24.10]
- (8) リレー競技のチームの編成は、各ラウンドの第1組目の招集完了時刻の1時間前（その時間までに競技者が招集所にいなければならない時刻）までに正式に申告しなければならない。なお、リレーオーダー用紙は、雨天練習場リレー係に提出すること。 [TR24.11]
- (9) 短距離走では、競技者安全のため、フィニッシュライン到着後も自分に割り当てられた走路を走ること。
- (10) 競技者に対する助力については、TR6.2 を適用するので十分に気をつけること。
- (11) 競技場での競技前の跳躍・投てき練習は、競技役員の指示によって行うこと。
- (12) 競技者は助走や踏切をしやすいするためにマーカー（主催者が準備したもの、または承認したもの）を、2個まで使うことができる。マーカーが準備されない場合、粘着テープを使用してもよい。 [TR25.3.1]
- (13) サークルから行う投てき競技では、マーカーを1つだけ使用することができる。 [TR25.3.3]
- (14) 審判長がやむを得ないと判断した場合に限りフィールド競技について競技順を変更して出場することができる。 [TR4.3]
- (15) ①混成競技で同得点の場合、同得点の他の競技者よりも多くの得点を取った種目の多い競技者を上位とする。
②①でも条件が変わらない場合、各種目のどれか1種目で最高得点を取った競技者を上位とする。
- (16) 選手の変更については申し込み以降、大会当日までに不測の事情により出場が不可能になった選手がでた場合、その旨を各地区委員長に申し出て承認を得た後、競技前の常任委員会です承を得ることを原則とする。それ以降の選手変更は認めない。

6. アスリートビブスについて

- (1) 競技者は、競技中、胸と背にはっきり見えるように2枚のアスリートビブス（ビブス）をつけなければならない。跳躍競技の競技者は、背または胸につけるだけでもよい。アスリートビブス（ビブス）は通常はアスリートランキングに記載のものと同じナンバーでなければならない。 [TR5.7]
- (2) アスリートビブス(腰)は招集時に受け取り、ランニングパンツ右側上部やや後方に貼り付けること。

7. フィールドの予選について

- (1) 男女の走幅跳と砲丸投については、予選を行い、上位12名を決勝進出者とする。
※予選通過標準記録を超えた者が12名に満たなかった場合は、予選成績により追加補充する。同記録の競技者はTR25.22 およびTR26.8 を適用する。
- (2) 以下の種目においては計測基準記録を設けるが、天候・その他の都合で変更することもある。

	走幅跳	三段跳	砲丸投	円盤投
男子	5 m 7 0	1 1 m 5 0	1 0 m 0 0	3 0 m 0 0
女子	4 m 6 0		1 0 m 0 0	2 5 m 0 0

※上記の記録を計測基準記録とし、記録に達しない場合は計測しないことがある。

8. 用器具について

競技に使用する用器具は、棒高跳用のポール以外はすべて主催者が用意したものを使用しなければならない。また、練習用としても個人の用器具を競技場内に持ち込んではいならない。

9. 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方について

種目	性別	練習	競 技			
走高跳	男子	1m55	1m60 ~ 1m85	5 cm ずつ	1m88 以上	3 cm ずつ
	女子	1m35	1m40 ~ 1m45	5 cm ずつ	1m48 以上	3 cm ずつ
棒高跳	男子	2m40	2m60 ~ 3m20	20 cm ずつ	3m70 以上	10 cm ずつ
四種競技 (走高跳)	男子	1m55 1m40	1m45 ~ 1m65	5 cm ずつ	1m68 以上	3 cm ずつ
	女子	1m15 1m35	1m20 ~ 1m40	5 cm ずつ	1m43 以上	3 cm ずつ

①走高跳・棒高跳の決勝で、最後の一人になり優勝が決まるまで、上記のバーの上げ方をする。

②ジャンプオフ(第1位決定戦)および近畿大会出場権を決定するためのバーの上げ下げは、走高跳は2cm、棒高跳は5cmきざみとする。 [TR26.9.4]

10. 表彰について

- (1) 各種目3位までの入賞した学校の顧問は、中央ロビーの表彰係へ賞状を受け取りに来ること。
- (2) 入賞者の得点は、1位8点、2位7点 ~ 7位2点、8位1点とする。
- (3) 男子・女子総合優勝校に、それぞれ賞状・優勝杯・優勝楯を、2位・3位校に賞状を授与する。

11. ウォーミングアップについて

- (1) 補助競技場のみとし、駐車場・芝生広場での練習は一切禁止する。
- (2) ウォーミングアップにおいて付き添いは行わず、個別で行うこと。(新型コロナウイルス感染防止対策)
- (3) 選手以外の補助競技場の利用はできない。
- (4) ハードル練習については、開門時刻 ~ 8:30までとする。
※個人のハードルの持ち込みは禁止する。また、競技場周辺でのハードル練習は一切禁止する。
- (5) 投てき練習は、補助競技場内の投てき練習場で行い、メディシンボールの使用のみ認める。

12. 競技場使用について

- (1) ADカードをつけていない者は、競技場および補助競技場に立ち入ることができない。
- (2) 待機場所はメインスタンド・メインスタンド裏(2F)・競技場外周・芝生スタンドおよび、競技場周辺の芝生を使用すること。ただし、地区割しているメインスタンド裏(2F)、競技場外周に関しては、テープで仕切る・シートを張る等のチームとしての場所取りや使用は禁止する。
- (3) 待機場所では、必ずマスクの着用とフィジカルディスタンスを確保すること。また、スタンド席は必ず1席以上空けて使用すること。
- (4) 本競技場での練習は、許可された時間帯以外は認めない。
- (5) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、声を出しての応援は禁止する。
- (6) 選手・役員以外は競技場内に立ち入ることはできない。
- (7) 本部前の通行は一切禁止する。スタンド内(建物内)通路に関しては、トイレと更衣室の利用時のみ可とする。
- (8) 貴重品の管理は各自で責任を持って行い、ゴミは各校で持ち帰ること。(競技場内にゴミ箱は設置していない)
- (9) 選手が競技場内にて、携帯電話・スマートフォン等の電子機器の使用・撮影を行わないこと。
- (10) 更衣室の利用は女子選手のみとし、更衣が終われば速やかに退出すること。
- (11) 不審者や不審な行為をみつけた場合は、すみやかに近くの競技役員に連絡すること。

前日の競技場開放について

開放時間 10:00 ~ 15:00 (メイン競技場・補助競技場ともに全面開放する)
ただし、棒高跳・砲丸投・円盤投については次の時間内に限りメイン競技場を開放するので、それ以外の場所(補助競技場、駐車場など)での練習は一切禁止する。

【 棒高跳・投てき開放時間 10:00 ~ 12:00 ・ 13:00 ~ 15:00 】

13. 競技による入退場について

- (1) 競技役員の指示に従い、入退場すること。
- (2) 競技終了後、手指の消毒をすること。

14. その他

- (1) 競技注意事項を熟読の上、円滑な競技運営ができるように協力すること。
- (2) 各自の出場種目の2時間前を目安に来場し、競技を終えた者は速やかに帰路につくこと。
- (3) 各校、ミーティングは行わないこととし、後日学校で行うこと。
- (4) 競技場内・周辺ではルールやマナーを守ること。
- (5) 主催者側でも消毒液等は準備するが、各自除菌グッズを持参し、適宜感染防止に努めること。
- (6) 選手は招集時、また競技以外の場面では必ずマスクを着用すること。
- (7) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マーシャルが競技場内やその周辺を巡回する。
注意に従わない場合は退場していただく場合がある。
- (8) リザルトはすべてWEBに掲載する。
- (9) 各種目3位までに入賞した者は、8月7日(日)・8日(月)に開催される第71回近畿中学校総合体育大会陸上競技大会(於 鴻ノ池陸上競技場)の兵庫県代表として推薦するので、表彰時に手続きを行い、指導者は大会終了後の打ち合わせに出席すること。
なお、近畿大会は一人1種目の制限があるため、4位以下から繰り上がる場合もあるので、アナウンスの指示に従うこと。
また、打ち合わせに出席しない学校や参加手続きのない選手は、近畿大会出場の意志がないものとみなし、繰り上げの処置をとるので注意すること。
- (10) 本大会は、第49回全日本中学校陸上競技選手権大会(8月18日～21日:福島)の予選会でもあり、資格を得た選手の顧問は、競技会終了後の全国大会出場者打ち合わせに出席し手続きすること。
- (11) 競技会当日、午前6:00に加古川市に気象警報(波浪以外)が発令された場合、その日の競技は中止とする。
なお、今後の予定については県中体連陸上競技部HPに掲載する。
- (12) 競技中に発生した傷害・疾病については、応急処置は主催者で行う。それ以降の処置については、各校の責任において、独立行政法人日本スポーツ振興センター法の定めを適用すること。

写真(動画)撮影について

悪質な写真(動画)の盗撮を未然に防ぎ、子どもや選手をこれらからの被害から守るために、大会中の撮影許可を下記の場合に限らせてもらいます。

- ①大会運営本部より許可した報道関係者
- ②大会出場校の顧問
- ③大会出場選手の保護者

※撮影されている方に、上記に該当するか確認させていただく場合があります。